

令和5年度
日野市中央公民館の
運営の状況に関する評価書
(令和4年度事業)

市民の暮らしに寄り添いながら
市民のつながりの中に“学び”を生み出す

令和5年9月
日野市中央公民館

目 次

1. はじめに	1
2. 評価の目的	1
3. 公民館の現状	1
(1) 施設	1
(2) 貸室利用状況（令和4年度）	2
(3) 組織・職員	2
(4) 主な業務	2
4. 評価の実施方法	2
5. 評価の対象	2
6. 評価の結果	3
公民館運営審議会の総評	3
公民館の自己評価	5
7. 評価表	7

資料

I 公民館事業	19
II 日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱	31
III 公民館運営審議会委員名簿（第29期）	32

参考

令和3年度、令和4年度講座等参加人数	33
--------------------	----

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「社会教育法」が改正され、運営の状況に関する評価等として、「公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」とされました。また、これに先駆けて平成 15 年には、公民館の設置及び運営に関する基準において「公民館は、事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため、各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする。」とされてきたところです。

これらを受け、公民館では平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から公民館の運営状況に関する評価を実施することになりました。

2 評価の目的

この評価は、公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深めるとともに、連携及び協力の推進に資するため、そして、効果的で市民・利用者に信頼される公民館事業を推進することを目的に行います。

この目的遂行のため、公民館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとします。

そして、評価結果に基づき公民館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 公民館の現状

(1) 施設

名 称	延べ床面積	開 館 日	所 在 地
中央公民館	704 m ²	昭和 41.7.1	日野本町 7-5-23
中央公民館高幡台分室	953 m ²	平成 16.4.21	程久保 550 教育センター内

(2) 貸室利用状況（令和4年度）

名 称	部屋の名称	年間利用者数
中央公民館	実習室、ホール、視聴覚室、小会議室、 講座室A・B、調理実習室、保育室	23,004 人
中央公民館高幡台分室	講座室1～6、実習室、和室 ※講座室6は、11月1日より貸出し を中止（保護司会に一時期、明渡し）	16,478 人

(3) 組織・職員 ※令和5年3月31日現在

2 係（管理係・事業係）

正規職員 7 人

再任用職員 2 人

会計年度任用職員 2 人

コミュニティワーカー 1 人

(4) 主な業務

- ・公民館運営全般
- ・公民館活動（成人・高齢者・青少年対象の講座等）の企画運営
- ・公民館関係資料の収集、保存及び作成
- ・公民館施設の貸し出し管理等

4 評価の実施方法

評価を行うにあたっては、社会教育法で設置が謳われている公民館長の諮問機関である第29期公民館運営審議会委員の意見を伺いながら行いました。本評価は施策評価であるため、事業別の評価資料を作成した上で、それに基づき公民館運営審議会委員に課題・問題点と評価の提起をいただき、評価を総括いたしました。

5 評価の対象

評価の対象は、「令和4年度中央公民館基本方針」にある3つの基本目標から各施策9項目、及び重点施策3項目を対象といたしました。

(1) 基本方針

第2次日野市公民館基本構想・基本計画～市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に「学び」を生み出す～目指す姿とし、基本計画に基づいて事業を展開する。公民館が市民にとって自由で民主的な学びの場

として機能させるために諸条件の整備・充実をすすめる。

市民がまなびの主体であると同時に、まなびを作り広げる主体として、公民館事業に生き生きと参加・参画できるように、各種事業を企画・運営し、情報提供や相談業務などの充実を目指す。

（２）基本目標と施策

① ～市民の日常生活に寄り添って～

豊かな暮らしをつくる「学び」を生み出す

- ・市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり
- ・「学び、学びあい」による生きがいづくり

② ～誰一人取り残さずに～

「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ

- ・地域をステージに、自ら考え、ともに行動する学びを実現する
- ・地域の社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決を支援する
- ・暮らしと地域に結びついた安全安心な社会をつくる

③ ～まちの未来に向かって～

世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す

- ・子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する
- ・平和な暮らしと社会を支える意識を育み、未来につなぐ
- ・さまざまな地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実させる
- ・まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する

（３）重点施策

- ① コロナ禍によって、地域団体（公民館サークル・NP0・自治会等）に生じたヨコの切れ目を結び直すアウトリーチを活用した出口戦略の実行
- ② 子育て支援する市民を応援し、子どもたちと学校教育に日野の魅力的な社会的資源・学習を提供することで地域交流を促す事業の充実
- ③ 多摩市との広域連携事業「たま学びテラス事業」の持続可能性のある事業運営体制への発展

6 評価の結果

《公民館運営審議会からの総評》

令和４年度は、第２次日野市公民館基本構想・基本計画の計画期間５年のうち、中間にあたる３年目であった。公民館の事業実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が続くなかで、市民にとって「集い」「学

び」「結び」の場であるという公民館の本来の役割を大切にしながらも、新たな事業の試みが積み重ねられた。本審議会では、館長からの諮問を受け、令和 5 年 3 月末に「第 2 次日野市公民館基本構想・基本計画の中間検証」について答申を取りまとめ、5 年計画のロードマップに関する具体的な改訂を提案したところである。今後、市民の日常生活に寄り添いながら、公民館事業を持続的に展開していくためには、公民館職員が日ごろから市民どうしの関係づくりを支えるとともに、市民との協働関係を築いていくことが重要である。

本事業評価では、年度ごとに計画の進行管理をしてきており、3 つの基本目標に連なる 9 つの施策と 3 つの重点施策について、それぞれ評価をまとめている。評価のための評価に陥ることなく、改善や発展のための評価となるよう、公民館職員による自己点検・自己評価を基本としたうえで、公民館運営審議会との協議を経て、今後の具体的な改善策が示されている。評価のプロセスでは、公民館職員と公民館運営審議会委員が、市民や利用者の暮らしと学びにあらためて向き合うことを大切にしてきた。令和 4 年度の評価について、大きく次の 3 点を指摘したい。

第一に、コロナ禍に負けない公民館運営が力強く行われた点である。令和 4 年度は、コロナ禍も 3 年目となるなかで、感染症対策を適切に講じた事業の実施やオンラインを有効に活用した事業の展開がなされた。職員の間で With コロナ時代の社会教育施設運営の経験が蓄積・共有されてきているほか、ICT を活用した遠隔学習と対面学習を併用した「新しい公民館」運営が進められており、今後の展開が大いに期待される。

第二に、市民や利用者への目配りがこれまで以上に大切にされた点である。地域の居場所づくりや青少年・若者へのアプローチはもちろん、未利用者への視点が大切にされており、「全ての人が参加でき、多様な人々を繋ぐことができる公民館」という理念のもとで事業が企画された。主催事業の参加人数も前年度と比較して増加している。今後に向けては、利用者数に関して新規利用者の把握や世代別での集計を行う等、より精緻なデータ収集を図ることが有効となるであろう。

第三に、市民どうしのつながりづくりや、つながりの結び直しを図る事業が展開された点である。公民館サークルの相互学習・交流を深める事業をはじめ、つながりを意図した事業が展開された。コロナ禍において、公民館の集い、学び、結びの機能が発揮しづらかった状況を経て、「結び直す」という視点が重視されてきていることを高く評価したい。

以上、令和 4 年度の公民館運営に関して、総合的な所見として 3 つの視点を示した。具体的な事項については、事業ごとの評価表を参照されたい。令和 5 年 3 月にマスクの着用に関する政府の方針が変わり、同年 5 月には新型コロナウイルス感染症の位置づけが季節性インフルエンザと同じ 5 類に引き下げられた。令和 5 年度は、コロナ禍からの出口に向けてアクセルを踏み込んでいき

い年となるが、その踏み込み方については、コロナ禍で得たさまざまな経験を生かし、市民一人ひとりの置かれている状況や事情に目配りをしながら、視界を大きく広げて、安全装置も付けながら前進していくことが重要であろう。公民館がこれまで利用していなかった市民はもちろん、感染症の影響で利用を中断してしまった個人や団体にもアプローチを続けることで、コロナ禍からの出口を市民とともに切り拓いていくことを望む。

《公民館の自己評価》

令和4年度中央公民館事業は、施策9項目及び重点施策3項目を踏まえ、事業数として94事業を展開した。

公民館主催事業の参加人数は延べ8,761人、中央公民館施設利用者数延べ23,004人、高幡台分室施設利用者延べ16,478人となり、年間で延べ48,243人が公民館事業に関わったという結果となった。コロナ禍による臨時休館、公民館主催事業にいたっては中止を余儀なくされる事もあったが、昨年度との比較において122.9%の実績数値となった。

1 With コロナ時代の社会教育施設活用

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が世界規模での蔓延から3年目となり、With コロナ時代の社会教育施設活用として、コロナ用の参加者名簿の作成や、施設の消毒、主催事業の開催に際しての導線確保など、職員と利用者が協力し合いながら感染リスクの低減を図り、コロナ禍においても、施設利用や各種事業を円滑に行うことができた。

また、コロナ禍に対応するため、職員のオンラインのスキル向上など新たな取り組みにもチャレンジし続け、ICT技術を活用した遠隔学習と、対面での学習を併用した「新しい公民館」運営が可能となったことは大きな成果である。この応用として、令和5年2月に開催された「東京都公民館連絡協議会第59回研究大会」では、基調講演と、4つの課題別集会のうち、日野市中央公民館は1つの課題別集会を担当し、唯一ICTを導入し、対面とオンライン参加を実現し、他市からも注目される結果となった。

今後の課題として、コロナ禍以前には、9万人以上の方が公民館施設の利用、主催事業へ参加されていた実態を鑑みると、コロナ禍により分断された市民の繋がり結び直しが急務であり、外出できず疎外感をもった市民にいかに寄り添うかの検討を進めていかなければならない。と同時に、子どものための居場所づくりや、若者世代のための事業を推進することで、公民館を知ってもらう機会を創出し、彼ら彼女たちが悩み、困ったときに「公民館に行こう。」と思えるような、次世代を支える学びの種を蒔いていくことも急務である。

2 令和4年度中の特徴的な公民館事業

(1) たま学びテラス事業の推進

令和3年度からスタートした「たま学びテラス構築広域連携事業」は、日野市・多摩市が連携して、市域を超えた新たな学びのスタイルを模索し、提供する事業である。中央公民館は多摩市公民館と協働し、多角的な学習フィールドを提供する事で、両市の市民一人ひとりの暮らしをさらに豊かにする事業を展開していった。

(ア) 多摩川の魅力を知ろう

多摩川漁業協同組合と連携し、多摩川の環境を活用し、両市の市民が参加できる生物観察、投網体験講座を企画した（雨天のため中止）。

(イ) 多摩の丘陵地と史跡を歩こう

郷土の歴史や文化について、2市の学芸員を中心に、2市民が現地を散策しながら、相互の理解や愛着を深め、多摩地域での広域的な仲間づくりを推進する事業を展開した。

(ウ) 子どもプログラミング教室

気候非常事態宣言を行った日野市において、プログラミングソフト「スクーミー」を用い、気温の変化を知らせる装置を制作し、子どもたちにSDGsの意識を持ってもらう講座を開催した。

(2) 青少年へのアプローチ

(ア) 小学校との協働事業（日野第六小学校、旭が丘小学校）

各小学校に公民館事業の講師が出張し、「月と星のおはなし」と題して、お話しをしていただく機会とした。

(イ) 子どものための居場所づくりセミナー

日野市で「子どもの居場所」を運営している地域団体などに、その思いやノウハウを紹介してもらうセミナーを開催し、地域全体で子どもを支援するネットワークの構築する事業を展開した。

7 評価表

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（１） 市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に学びを生み出す		
	事業の概要		
1【施策】 市民の暮らしに寄り添った学びの循環づくり		経費	【謝 礼】383,500 円
【課題】 ○職員は地域のコーディネーターとして、市民同士、または他機関との連携を深め、市民一人ひとりが生涯をとおして学べる仕組みを構築していく。		延べ 参加 人数	14 事業：1,029 人
事業の成果			
○ひの市民大学事業は、単大学との委託連携事業から、市内外の5大学と連携し各大学の得意とする内容をピックアップし、幅の広い事業を展開することができた。この成果により翌年度以降も継続しうるつながりが図られ、各大学の特色を生かした企画を市民に提供できる仕組みが構築された。また、働き盛り世代の市民企画委員を拡充し、忙しい日常生活に、時間と心のゆとりをつくる生活の知恵などを伝える斬新な企画も紹介された。 ○ひの社会教育センターと公民館、ひの市民大学企画委員会との連携を行った。フィンランド映画「365 日のシンプルライフ」を鑑賞し、日常生活において本当に必要なものは何か？を参加者と一緒に考えた。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 多種多様な講座があり、参加者からはシリーズ化を要望する声も出ているなど、魅力的な事業内容が企画・展開されていることが分かる。また、講座終了後にサークル化に発展した事業もみられた。個人の学びの欲求に応じていくことに留まらず、個人が習得した知識や技能を他者に伝えていくという「学びの循環」に力点を置いていくこと、さらにその循環が地域で大きく発展していくことを願っている。 本施策では、全体を通して、市民の学習ニーズや生活実態から事業が企画されている。また、市民の学びのプロセスも長くとられている。大学や団体などとの連携も効果的であり、継続していったほしい。加えて、公民館に関心を持つ人々に対して、職員・利用者が積極的に情報発信していくことも重要であると考える。			
【事業個別】 ○「世界で一つだけの自分の印を彫ろう」では、参加者の要望からサークル化が実現した。市民の学びたい気持ちを次の学びの循環につなげていったほしい。 ○「地域の居場所づくり」事業では、「子どもたちのために」という思いを共有し、関心のある市民やスタッフとして参加する子育て中の保護者たちが増えてきている。			
事業の課題と改善策			
幅広い市民のニーズが求められている中で、大学や他機関との更なる連携を意識していく。広域での連携のほか、自治会単位や個人単位との連携を模索するなど、より市民の暮らしに寄り添ったデザインとマネジメントを模索していく。 今後も、市民の要望や関心に沿った「市民の関心」を形にした講座を検討する。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（１） 市民の暮らしに寄り添いながら市民のつながりの中に学びを生み出す		
	事業の概要		
2【施策】 「学び、学びあい」による生きがいづくり		経費	【謝 礼】125,000 円
【課題】 ○サークルが自主的に、様々な取り組みに対応できるよう、他機関との連絡調整など横断的なつながりを構築するための職員のスキルアップを図っていく。		延べ 参加 人数	8 事業：535 人
事業の成果			
○公民館まつりは、高幡台分室まつりとの一本化、ひのアートフェスティバルとの同日開催を目指して、役員会や実行委員会等において、説明会や協議会を設けたが、新型コロナウイルス感染拡大などの影響により、延期や中止を余儀なくされた。 その中で、公民館まつりは、延期としながらも内容の変更などにより変則的に開催することができた。			
○映画会については、16 mm映写機が経年劣化により使用不能に近い状態にある。また、16 mmフィルムは都立図書館（国分寺市）まで借用、及び返却をしなければならず、今後は映画会の開催については検討の余地がある。そのような状況の中で、DVDを借用して2回の上映を行ったが、DVD借用費用も高額ではある。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 公民館サークルとして、児童館まつりなどへの参加、サークル活動の支援を伴う講座などを今後も継続してほしい。多数ではなくとも、公民館と日ごろからつながりのある近隣住民や、公民館活動に理解のあるサークルが存在することは、公民館の円滑な運営において重要である。公民館活動をよく理解している市民団体を中核として、公民館サークルの相互での学習事業や交流を深める事業を企画すると有効なのではないかと考える。 市民どうしの交流はもちろん、一人ひとりの市民にとっても各々の居場所があることは大切である。今あるつながりをさらに深めつつ、新たなつながりを拡大していくための方法の一つとして、気軽に楽しんで参加できる居場所づくり事業の創出について検討してほしい。 そのうえで、それぞれのサークル、団体の活動が活性化するためには仲間のつながりが、開かれた輪となっていることが重要である。職員が日ごろからオープン・マインドで利用者とフラットな関わりを築くことで、サークル、団体の既存の輪を開き、新たな仲間づくりを支援してほしい。			
【事業個別】 ○「程久保うたごえパーク」講座など、音楽系の事業では、高齢者だけを対象とするのではなく、子どもたちや親子向けに、参加できる工夫があるとさらに良いのではないかと考える。			
事業の課題と改善策			
○公民館では、市民や登録サークルの「やりたい」事に耳を傾け応援するためのコーディネート力が重要である。市民や登録サークルのやりたい活動が公民館の周知、告知に繋がっていくので、地道な対応ではあるが常に市民に寄り添い、気持ちが非常に重要である。			
○映画会については、映写機の劣化とフィルム確保に係る市外出張、また、DVD借用に係る高額な予算などが課題としてあるため、映画上映会の開催については抜本的な検討を進める。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ		
	事業の概要		
1【施策】 地域をステージに自ら考え、ともに行動する学びを実現する	経費	【謝 礼】 807,000 円 【委託料】 2,750,000 円	
【課題】 ○市内地区センターの活用や、学校への出張を行い地域と学校との交流を活性化させていく。	延べ 参加 人数	15 事業：731 人 2 委託事業：937 人	
事業の成果			
○日野市と多摩市の連携事業として、多摩川漁業協同組合に協力を頂き企画した「多摩川の魅力を知ろう」は浅川の自然に関心を持ってもらうものである。しかし河川の増水により中止となってしまったが、両市にかかる自然環境について学ぶ機会であっただけに残念である。 ○日野第六小学校、及び旭が丘小学校との連携事業として「星空を学ぼう 月と星のおはなし」を開催した。当事業は学校の授業の一環として公民館が各小学校に赴き、次世代を担う児童に公民館を周知する機会とし、例えば三期休業中に公民館で開催している、学校では学ばないようなイベントへの参加を促し、自然と公民館に触れる機会を設ける必要性を感じた。 ○ひまわり号プロジェクトは、巡回拠点が地域の居場所となっていることに着目し、図書館などと連携しオープン講座を開催した。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 本施策では、企業や学校との連携事業をはじめ、まちの自然、歴史、文化を取り入れた多くの事業が展開された。内容についても市民の交流を促す工夫がされている。国際交流に関する事業や障がいの有無に関わらず参加できる事業など、「あらゆる人が参加でき、人と人、人とサークル（機関・団体など）をつなぐことができる公民館」という基本姿勢をこれからも継続してほしい。また、歴史的なアプローチをしている事業は、その時参加できなかった人や未来の市民などにも学びが共有されていくよう、取り組みの過程や成果を記録として残していくと良いのではないかと考える。			
【事業個別】 ○図書館と協働した「ひまわり号プロジェクト」事業は、複数の機関との連携だけでなく、地域の人々が日ごろから集う公園に公民館が出向いていくという形態が評価できる。公民館の周知にもつながる取り組みであるといえる。 ○「少年学級」事業は年齢制限が設けられているため、一定の年齢に達すると、公民館に参加する機会も減ってしまう。課題解決策として「リトミック講座」が開催された。これにより、公民館に再び参加する機会が生まれ、保護者同士も情報交換ができ、新たな活動を始めるきっかけを生み出した。今後も継続してほしい事業である。生涯にわたる切れ目のない学びを提供することで、交流を継続できる大切な機会や場を生み出すことができると考える。 ○小学校へのアウトリーチ事業が増えている。今後も回数はもちろん、実施会場を広げていくことを望む。加えて公民館から市内でも遠方の地域に出かけていく出張講座を企画してみてもどうか。学校や企業などともコラボしながら地域を知って学ぶ事業など、市内全域を見据えながら事業の企画立案をしていくことが望まれる。			
事業の課題と改善策			
長期間にわたる体験事業の開催などで、公民館事業で得た技能や知識などの成果を、参加者が社会に還元していく視野をもった企画立案など、日野の公民館らしい「人と人とのつながりづくりを重視」した主催事業の企画を検討していく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ		
	事業の概要		
２【施策】 地域や社会的資源を生かし、学びを通して暮らしの課題解決の支援をする		経費	【謝 礼】 8,000 円 【委託料】 400,000 円
【課題】 ○講座等の企画の中で、つながりができる仕組みなどを検討していく。		延べ 参加 人数	1 事業：12 人 1 委託事業 2,647 人
事業の成果			
○市内の歴史的建造物を中心に、明治から昭和初期の時代に日本の産業を支えた「養蚕」をと おして、その時代背景などを学んだ。 ○「日本語教室」は委託事業として、地域の外国人など向けに、生活に困らない程度の日本語 を習得してもらうための事業であるが、コロナ禍により対面とオンライン型式を並行実施す るなど生活に直結する事業なだけに、出来る限りの工夫を凝らした。			
公 民 館 運 営 審 議 会 の 意 見			
【施策全般】 現代社会の生きづらさに目を向け、暮らしの課題解決や、コミュニティづくりの取り組みを 学びという視点から応援していくことが重要である。市民にとって、地域の他人事が自分事と なり、当事者意識をもって地域に参画していくうえで、公民館の学びに参加した市民が「社会 教育無料の原則」を認識し、自ら次の行動を起こしていけるような事業を企画していくことが 求められる。その一歩として日野市に住む人々の「暮らしの課題」を公民館自体が把握してい くことができるよう、市民との対話と地域への働きかけを、積極的にしていく必要がある。			
【事業個別】 ○「蚕でつなぐプロジェクト」は、日野市の歴史や産業を学ぶことを通して、市民が地域の過 去、現在、未来をつなぐ架け橋となっていく事業としてもとらえられる。地域資源の存在を 市民に伝えていくこと、そしてその市民がまた別の市民に伝えていくことで、学びをリレー していくことが大切である。継続発展を期待する。			
事業の課題と改善策			
地域の社会的資源を活かしてはいるが、そこに新たな種が蒔けると面白い企画が成立すると思 われる。社会的資源を既に「あるもの」として活用する方法に留まらず、公民館事業を通し て「ともにつくるもの」として創造する方策を検討していく。公民館が単なるイベント屋にな らないよう、市民や各団体などとの関連を活かしていく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（２） 「学び」に集う人たちを地域や社会につなぐ		
	事業の概要		
３【施策】 暮らしと地域に結びついた安全安心な社会をつくる		経費	【謝 礼】24,000 円
【課題】 ○防災講座は住民が我が事と捉えられるように、意識的・積極的に事業に厚みを加えていく。		延べ 参加 人数	2 事業：48 人
事業の成果			
昨今、地球規模で、また日本の各地でも地震が頻発している。また温暖化の影響か風水害の被害も各地で猛威を振るっている。 日野市においても例外ではなく、多摩川、浅川の２河川、また浅川以南では丘陵地が横たわっており、風水害や土砂災害が危惧されている。災害時の「自助・共助」は地域住民自身の問題であることを常に伝えていく必要がある。 ○防災講座では、アウトドア方式、日常使いのバックを防災仕様にと、すぐにでも実践できる工夫を随所取り入れた。 ○「可燃ごみ処理施設を見学しよう！」では、地域になくてはならない施設であるが、いわゆる迷惑施設とも言われている。衛生面と環境面から反対されがちな施設ではあるが、市民一人ひとりの理解を深めてもらうものとして開催した。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 本施策においては、公民館が単独で課題に立ち向かうのではなく、日ごろから市民の暮らしと地域を支えている関係機関や関連団体との橋渡し役を担い、ネットワークの要になっていくことが大切である。自治会の役員・会員や市民の方々に対して、例えば「公民館〇〇見学会」などと称するようなイベント等に招くなど、ネットワークの基礎を築いていくような取り組みを期待する。 また、暮らしの課題の一つにごみ問題が挙げられる。ごみ処理をめぐる学びは全ての市民に関わる身近な生活課題であり、家庭や地域のコミュニティで共有できるテーマでもある。家庭でごみが生じる段階から、その後の収集、処理場での処理等の一連の工程を知ったうえで日々生活することにより、市民の当事者意識を育む機会が提供されている点は評価できる。 【事業個別】 ○安全安心な社会をつくっていくうえで、例えばアウトドアも一つの切り口となりうる。アウトドアは幅広い世代に浸透しつつあり、楽しめる要素を組み合わせることができるため、新たな事業の展開を期待したい。 ○「可燃ごみ処理施設を見学しよう！」は今後、公民館が小学校との連携を図るなかで、授業の一環として組み入れることも有効であろう。加えて、子どもだけではなく大人も含めた、ごみ問題を入りに学んでいける事業を創出してほしい。			
事業の課題と改善策			
近頃の自然災害や種々の防犯への対応など、あらゆる課題から身を守るための講座についても積極的かつ継続的に講座を拡充の方向で検討を進めていく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表		
事業項目	基本目標（３） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す	
	事業の概要	
１【施策】 子どもから大人まで切れ目のない学びを創造する	経費	【謝 礼】 652,000 円
【課題】 ○コーディネート、ファシリテートも公民館の役割である。年長世代が下に教えるだけでなく、若い世代が高齢者に教える双方向性の関係を模索し、世代を超えた「学び」の在り方を探っていく。	延べ 参加 人数	32 事業：1,251 人
事業の成果		
様々な方向からアプローチし、多くの事業を展開した。各事業の今後の課題を明確化するとともに、あらゆる点を線に結ぶ工夫を行い、切れ目のない学びを創造した。 ○「菜園スコムニティ」は、教育センターの廃花壇を利活用してスタートした。高齢者世代の利用率が高い高幡台分室において、家庭菜園をしながら参加者同士のコミュニティの形成を図ることを目的として開催した。課題として、他に家庭菜園の活動を行う場が見つからないため、講座終了後にサークルとして組織化することはできないが、参加者同士は LINE でつながり、各家庭の菜園の状況を連絡し合っている。 ○「はじめての絵手紙」は新規サークル化、「草笛吹き方教室」はサークル支援講座として、一人でも多くの方に公民館を知ってもらい、利用してもらう取り組みとして成果があった。		
公民館運営審議会の意見		
【施策全般】 本施策では、幅広い世代が参加でき、かつバラエティに富んだ興味深い内容の事業が多く行われた。参加者同士の交流、公民館活動の目的の一つである社会教育の周知という点ではもうひと工夫がほしいと感じる。例えば、「居場所づくりセミナー」事業など、地域で活動したい意志を持つ市民の集まる場において、公民館が果たす役割を伝えていくとともに、市民が主体的に公民館を利用できるよう周知をしてみてもどうか。サークル間の交流をはじめ、各講座内で参加者同士がコミュニケーションを図ることも、職員の工夫や関わり方次第であり、一層の事業の内容の深化を目指してほしい。 【事業個別】 ○「夏休み子どもカーデザイン教室」は、地元企業を知るとともに、ものづくりや、デザインの視点を持ち、将来の夢を広げることにつながる試みになったと思われる。 ○多様なテーマの事業があり、さすが、公民館である。今後も、また別のテーマを探り、学びを創造して行ってほしい。 ○子どもが参加しやすい土日や学校の長期休業に合わせて講座が開催されており、中身の深い体験活動のプログラムが考えられている。日野の子どもたちが、多世代間で保護者とともに楽しみながら学び、その姿から講師も喜びを感じて、互いのモチベーションにもなっていることが喜ばしい。		
事業の課題と改善策		
垣根を超えた子ども同士や、保護者など多世代間のつながりの場を設けることを意識していく。「公民館を知ってもらい、利用してもらう。」には、公民館として、切れ目のない学びを提供し続けるとともに、職員は、市民や関係機関等とのコーディネーターとしての役割を認識し、市民一人ひとりの学びに寄り添って行く。		

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（３） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す		
	事業の概要		
2【施策】 平和な暮らしを支える意識を育み、未来につなぐ		経費	【謝 礼】240,000 円 【委託料】100,000 円
【課題】 ○憲法、平和、人権等の講座はその内容を工夫して、誰もが等しく参加できる機会を創出していく。		延べ 参加 人数	2 事業：44 人 1 委託事業：63 人
事業の成果			
日ごろ、私たちは憲法や人権、平和に守られていることを意識せずに生活しているが、いずれも欠く事のできない権利である。さらに、これらの事業は公民館の根幹として進めて行く事業である。 ○平和事業は、高校生や大学生も参加し朗読紙芝居を披露した。戦争を知らない若者たちが紙芝居をとおして平和や命の大切さを訴えた。さらに、この様子は NHK のニュース 7 で取り上げられたことは大変良い PR となった。 ○LGBT 講座は、性の多様性についての現状を捉え理解に努めていくものとして開催した。人権を守る事業を推進することで差別のない平和な暮らしを支える意識を育み、誰もが安心して暮らせる社会を目指した。			
公 民 館 運 営 審 議 会 の 意 見			
【施策全般】 争いのない世界、平和の尊さについて、あらためて学ぶことのできる場が公民館である。平和事業では、かつて日本が経験した戦争の話だけではなく、ウクライナの現状の話を交えたことにより、戦争体験者の願いを継承し、幅広い世代の市民が平和をあらためて希求していく機会をもたらしたと受け止められた。誰もが安心して暮らせる社会を作るために、人種、宗教等に関わらず、ともに学び、ともに生きていくという公民館の基本を確認することができた。今後も、幼児から高齢者まで、幅広い年代が参加できる事業として継続してほしい。 【事業個別】 ○公民館の「平和事業」については、戦争を知らない世代の子どもたちを対象に、学校の教育課程と有機的に連携しながら展開していくなど、学社連携による実施体制の整備が重要である。			
事業の課題と改善策			
憲法や平和に関する事業は公民館にとって本質的なものである。すべての方々にとって憲法や平和は身近なであることを知ってもらう機会として、より親しみやすく、参加しやすい工夫を施していく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（３） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す		
	事業の概要		
３【施策】 さまざまな地域資源や学習の機会・場の情報共有を充実させる		経費	【謝 礼】０円
【課題】 ○年間を通じて日常的に実施する事業として立案し、学びに関する情報を戦略的、総合的に発信、収集して取り組む必要がある。		延べ 参加 人数	該当事業なし
事業の成果			
今年度、他の施策の中で事業報告をしているが、過年度より複数の講座等において、市の他課や、関係機関、団体に講師の依頼や、施設の見学会などと称した連携は行っている。 ○「まなびの日」イベントは、市生涯学習課が主導し、豊田駅北口のイオンモールを会場として、図書館、郷土資料館らと共に公民館活動を周知した。ところが実施報告書の作成は無かったため、評価の対象から外れてしまった。 ○「可燃ごみ処理施設を見学しよう」浅川清流組合と連携し可燃処理施設の見学会と可燃ごみの分別や回収などの課題や、職員の苦労話を聞いた。 ○「ひまわり号プロジェクト」講座では図書館との連携事業として各地を巡り公民館を周知した。 ○たま学びテラス事業の「多摩の丘陵地と史跡を歩こう」講座では両市の学芸員を講師に招き、それぞれの史跡や、開発史を学んだ。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 図書館や社会教育センターなど、市内にある生涯学習・社会教育の関連機関、部局との連携を進めてほしい。そのなかで公民館の役割をあらためて確認しながら、地域に根差し続けていくためのネットワーク形成や事業展開を図ることが求められる。			
事業の課題と改善策			
関連機関、社会教育機関などとの連携により、得られる地域資源などを公民館の共有財産と捉え、職員同士が情報共有できる場づくりを工夫していく。 また、事業報告書の作成はもとより、どのような企画か、連携内容、開催準備に係る日常的な業務や、打合せなど取り組まれている業務を記録していく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表			
事業項目	基本目標（３） 世代をこえて新たにつながる「学び」を創り出す		
	事業の概要		
4【施策】 まちの自然・歴史・文化に親しみ、多世代間で知恵を交流する	経費	【謝 礼】213,000 円 【委託料】334,000 円	
【課題】 ○日野の子どもたちや、若い世代があらゆる場面で知る機会に出会えるよう社会資源をもっと発掘し紹介していく。	延べ 参加 人数	11 事業：428 人 2 委託事業：647 人	
事業の成果			
○「エコ布ぞうりをつくろう」は、中央公民館、及び高幡台分室において開催できた。廃棄してしまいがちな、古布を活用して身近な伝統技術を学んだ（講師：わら草履保存会）。エコトリサイクルについて考えるきっかけとした。 ○「東光寺大根講座」は、参加者からも非常に好評であった。9 月の種蒔きから翌年 1 月までの開催期間であったが、小学生から高齢者までの幅広い世代が参加し、市内の特産品について知る機会となった。 ○「多摩の丘陵地と史跡を歩こう」は、多摩市との連携事業として、多摩の開発史とそれぞれの史跡を散策した。なお、参加者の一部も次年度の企画に参加してもらえることとなった。			
公民館運営審議会の意見			
【施策全般】 企画段階から、様々な団体や市民と対話し、市の関係部局とも調整を図りながらプログラムが練り上げられている。市民にとっても関心をもって参加しやすい事業になっているように受け止められた。公民館事業の企画にあたって日野市の豊かな自然、文化、歴史等が生かされている。今後は企画段階から様々な世代（特に若い世代）への働きかけにも注力してほしい。 【事業個別】 ○「蚕でつなぐプロジェクト」、「東光寺大根の種をまこう」など、日野市の歴史、産業、特産品を学べる取り組みを、今後も地道に続けてほしい。			
事業の課題と改善策			
地域に根差している方々に市内の伝統行事などの紹介も検討していく。当事業の更なる充実により、郷土愛を育み、地域とのつながり、地域への親しみが湧き、一人ひとりが地域の一員としてのアイデンティティが培われるような取り組みを行っていく。			

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業（１） コロナ禍によって、地域団体（公民館サークル・NP0・自治会等）に生じたヨコの切れ目を結び直すアウトリーチを活用した出口戦略の実行
事業の概要	
昨今、生涯にわたり学びを支えるという視点でタテの切れ目を作らないことが意識されているが、これからは、多様な生活スタイルや価値観が一層広がっていく中で、市民どうしの間にヨコの切れ目が生じないよう、つながりを結んでいくことを意識した事業の展開を図る。	
事業の成果	
「初めてつくる、切り絵に挑戦」、「草笛吹き方教室」は、コロナ禍で会員が減少してしまった公民館サークルと協働して体験講座を実施し、参加者を新会員に勧誘することで公民館サークルの結び直しを意識的に取り組んだ。 また、「出張ゆるゆる手作りの会 in 児童館まつり」、「公民館まつり（ステージ）、オンライン併用」事業では、コロナ禍で出来なかった公民館サークルの成果発表をアウトリーチ事業として積極的に行い、地域との交流も行うことができた。今後も、公民館サークルどうしの交流を促す方法について検討し、コロナ禍で生じたサークル間の切れ目を結び直していきたい。	
公民館運営審議会の意見	
【施策全般】 公民館のサークルの中には、コロナ禍を経て会員が減少した団体、メンバーの高齢化が顕著となった団体もある。パンデミックの影響が残る中で、あらためて公民館として、サークルへの積極的な支援、包括的な関わりが求められる。公民館まつりなどのイベントを通じて、サークル間のヨコのつながりと広がり、さらには各サークルの多様性に配慮した持続可能な運営を意識し、活動のタテの深まりが支えられていくことを願う。 【事業個別】 ○公民館活動に理解のある市民やサークルを中心に、地域団体（NP0・自治会など）に情報発信をする事業を今後も積極的に行ってほしい。例えば、公民館サークル同士が分野別に交流するイベントの企画やネットワークづくりも有効であると考えます。 ○会員減少に悩むサークルは少なくない。公民館と市民の出会いを促し、体験参加や公民館まつりなどのきっかけをたくさん作り、新たな公民館の利用者を広げて行ってほしい。公民館まつりは学びの成果発表の場としてはもちろん、新たな仲間との「結び」が生まれる場にしていくことが重要である。	
事業の課題と改善策	
コロナ禍後に向けた公民館の大きな課題として、市民どうしのつながりの結びなおしがあげられる。学びの循環を個人に留めず、学びの循環の中から仲間を巻き込んでいくことを、公民館の各事業において意識していく。 それには、職員が核となり市民との積極的交流が鍵となる。	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業(2) 子育て支援する市民を応援し、子どもたちと学校教育に日野の魅力的な社会的資源・学習を提供することで地域交流を促す事業の充実
事業の概要	
子育て支援など、あらゆる活動に興味を抱いている市民や公民館サークルに、「参加してみよう。」と思うキッカケづくりを行う。自地域での交流などをおして、社会や地域に思いが向くことにより、主体的に学び、学んだことを誰かに伝えるという学びの循環を創出する。	
事業の成果	
市内の小学校と協働し、「日野第六小×公民館 月と星のおはなし」・「旭が丘小×公民館 月と星のおはなし」、「日野第一小×公民館 素敵なおこづかい帳」を開催し、子どもたちと学校教育に社会的資源を活用した学習を提供することができた。 また、「子どもの居場所 こむこむ」、「子どものため居場所セミナー」等の事業の継続、そして、子育て課、環境保全課、セーフティーネットコールセンター、図書館と連携し、「子どものため居場所マップ」を制作することで、地域の子どもたちとそれを支える市民に寄り添う姿勢を示すことができた。 今後もこの事業は、さらに大きな流れになるように努力していきたい。	
公民館運営審議会の意見	
【施策全般】 小学校との連携事業は着実に増加しており、今後の発展に期待している。また、子育て中の世代が積極的に市の社会資源を活用し、学びの場に参加していけるような仕組みづくりも行っていきたい。 【事業個別】 ○「小学校×公民館」は今後も継続して関わりを深めるとともに、各校に取り組みを広げてほしい。 ○学校教育部局はもちろん、子ども部との連携を図ることで、より多面的な地域交流事業の充実が図れるのではないかとされる。 ○学校との連携はとても重要であるとする。多様な大人たちの姿を子どもたちが学ぶ機会を用意してほしい。	
事業の課題と改善策	
きっかけを要している方に社会教育の意義を伝え、自然と社会教育活動につながっていく雰囲気づくりを職員が率先して行っていく。 また、市民一人ひとりに、公民館事業自体が「社会教育活動」であることを認識してもらうための工夫を施すとともに、職員や、公民館利用者の働きかけも必要である。	

日野市中央公民館の運営状況に関する評価表	
事業項目	重点事業（３） 多摩市との広域連携事業「たま学びテラス事業」の持続可能性のある事業運営体制への発展
事業の概要	
令和３年度からの３か年事業である。多摩市と日野市が連携して、ＩＣＴ事業の充実、多摩地域の大学等との連携、両市民を巻き込んだ交流・学習意欲の向上を図り、豊かな暮らしを実現するために、２年目となる今年度は、特に両市民との持続可能な交流を図り、広域的な社会教育支援を行っていく。	
事業の成果	
令和４年度も多摩地域の社会的資源を活用し、２市民の交流を促す事業を実施することができた。多摩市の歴史・文化に触れるまち歩き「多摩の丘陵地と史跡を歩こう」や、台風のための中止となったが、「多摩川の魅力を知ろう！」は、２年目のたま学びテラス事業として内容を深めることができた事業である。 また、「プログラミング体験教室」では、生活課題をプログラミングで解決するという主旨から環境保全課に「日野市気候非常事態宣言」について子どもたちに解説をしてもらい、SDGsの取り組みを含めることができた。 多摩市と事業内容を検討し合った成果として、各事業の内容を深めることができたので、今後もこの関係を維持し、持続可能性のある事業運営体制を目指していきたい。	
公民館運営審議会の意見	
【施策全般】 前年度から引き続き参加した市民が講座で再会して打ち解けあうなど素晴らしい成果があった。参加者からは「次年度以降の事業計画に参加したい。」などの声も聞かれ、市民主体の事業としての発展がみられる。 また、子ども向けの事業が企画されたことにも注目したい。日野市と多摩市の両市の子どもたちが関わり合える活動や、互いの市の魅力を幼い時期から伝え合い、共有していけるような事業を期待する。 【事業個別】 ○「たま学びテラス」事業は、「ひの市民大学」、「近隣大学との連携講座」、多摩市の私立大学との連携による「関戸地球大学院」など内容の幅が広い。参加者の期待度も高いととらえられる。多摩市との協働により、自治体の枠を超えて、地域課題や社会的資源を共有して取り組まれた事業であるといえる。今後、２市のあらゆる資源、知識、ノウハウを活用することによって、さらなる相乗効果が期待できる。持続可能な体制での運営のあり方を模索し、日野、多摩両市民の学びのニーズを高めてほしい。加えて将来的には、他の近隣市との交流も検討するとよいのではないかな。	
事業の課題と改善策	
日野市と多摩市の地域や、両市民とどのような関わりを中長期的に構築していくかについて具体的なビジョンを描いていく。当事業は令和５年度をもって完了するが、多摩市との連携が切れないよう、職員同士や、市民との関係を絶やさぬよう、事業終了後の展開と方向性の検討を進めていく。	

公 民 館 事 業

区 分	事 業 名	開催日	会 場	講師・出演	参加延 べ人数
成人・高齢者事業	・菜園ス コミュニティ(春夏)	4.21～8.18(全 8回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 聡明	58
	・認知症の人の理解とケア ～正しい理解で幸せに暮らそう～	6.4 (全1回)	中央公民館	宮本 芳恵	34
	・出張ゆるゆる手作りの会 in児童館まつり	6.5 (全1回)	中央公民館	ゆるゆる 手作りの会	100
	・アートで心をほぐしませんか？	6.18 (全1回)	中央公民館	西畑 ありさ	7
	・～心地よくって健康的～ エコ布ぞうりを作ろう！	6.21 (全1回)	中央福祉 センター	高橋 さゆり	14
	・シニアICT支援事業 (スマホお助け隊養成講座)	6.22～8.9 (全5回)	中央福祉 センター	日野市ボランティア センター 株式会社アミュー	58
	・可燃ごみ処理施設を見学しよう！	6.24 (全1回)	浅川清流環境 組合可燃物処 理施設	浅川清流環境 組合職員	20
	・OKyuワークショップ ～コロナに負けないカラダ づくり～	6.29 (全1回)	中央公民館 オンライン併用	西畑 ありさ	13
	・草笛吹き方教室	7.16～8.10 (全4回)	中央公民館	西澤 和夫	26
	・シニアICT支援事業 (スマートフォン使い方講座)	①7.27～11.9 (全10回) ②8.27、9.24 (全4回)	①平山交流 センターほか ②中央公民館 福祉支援 センター	①株式会社 アミュー ②東京都	①132 ②41
	・こんにちは！サイエンス 変形菌の不思議な世界	8.6、8.13 (全2回)	中央公民館	今村 知世子	40
	・親子で楽しくお絵かき オリジナル風鈴を作ろう！	8.20、8.21 (全2回)	中央公民館	大畑 薫	24
	・ビートルズ& 60年代ブリティッシュビート	8.24～9.7 (全3回)	多摩平交流 センター	鈴木 佳行	48
	・東光寺大根の種をまこう！ 育てよう！ そして、たくあん作り！！	9.3～1.14 (全5回)	福島農園	福島 幹男	96
	・在宅療養支援講座	9.10 (全1回)	中央公民館 オンライン併用	平井 健	49
	・菜園ス コミュニティ(秋冬)	9.15～12.15 (全7回)	中央公民館 高幡台分室	佐藤 聡明	59
	・筆文字のコツ ～筆文字なんて怖くない～	9.21～10.19 (全3回)	中央公民館	小熊 廣美	37

・オンリーアート工作	9.24～12.24 (全4回)	中央公民館 高幡台分室	なし	29
・はじめての「絵てがみ」教室 入門編	10.5～12.7 (全5回)	中央公民館 高幡台分室	青木 永子	43
・不安とストレスに悩まない7つの 習慣 Withコロナの時代に	10.8 (全1回)	中央公民館	中村 智子	16
・自分らしく人生を終えるために ～アドバンス・ケア・ プランニングを学ぼう！	10.22 (全1回)	中央公民館	宮本 芳恵	19
・初めてつくる、切り絵に挑戦	11.1、11.2 (全2回)	中央公民館	志村 満江 渡辺 和夫	30
・おとなの手作り絵本講座	11.2、11.30 (全2回)	中央公民館	小島 緋奈子	17
・～世界で一つだけの自分の印を 彫ろう！～ 楽しい篆刻講座	11.4～11.18 (全3回)	中央公民館	土方 囂々	41
・かわいいつるし雛 ～うさぎ、うぐいすと梅～	11.10～12.1 (全4回)	中央公民館	大竹 裕子	75
・エコ布ぞうりを作ろう！ @高幡台分室	11.22 (全1回)	中央公民館 高幡台分室	高橋 さゆり	12
・中央公民館×田んぼの学校 お正月のお飾り、わら細工 づくり講座	12.9 (全1回)	中央公民館	尾形 重男 ほか	18
・季節を楽しむ和の行事 お正月 ～餅花とポチ袋づくり～	12.21 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子	15
・国際理解講座～ウクライナ編～	1.21 (全1回)	多摩平交流 センター	ドゥブニコバ・ ヤンナ ドゥブニコバ・ ウリアナ	60
・Ⅰ 電子工作を学んで 地域デビューしませんか！ Ⅱ 親子で楽しむ電子工作	2.3、2.5 (全2回)	中央公民館	山下 幸嗣 下野 暁	41
・ひまわり号プロジェクト	2.9～3.24 (全3回)	万願寺中央公園	一般社団法人 ソーシャルキャピ タル共創機構	57
・季節を楽しむ和の行事 ひな祭り ～和紙でつくるお雛様と朗読～	2.21 (全1回)	中央公民館	枝川 寿子 内山 すみえ 中嶋 祥江	19
・子育て講座 ～イヤイヤ期のこどもが分かる！～	2.24～3.10 (全3回)	中央公民館	初田 美紀子	33
・がんの在宅療養と緩和ケア	2.25 (全1回)	中央福祉センター (ライブビューイ ング会場)	望月 諭	10
・～自分を守ろう！ みんなを守ろう！知恵と技～ あんどうりすさんに学ぶ防災講座	3.4 (全1回)	中央公民館 オンライン併用	あんどう りす	28
・程久保うたごえパーク (単発)	4.23 (全1回)	中央公民館 高幡台分室	アンサンブル 「ジュビア」	9

	・程久保うたごえパーク (通年事業)	7.9～2.18 (全4回)	中央公民館 高幡台分室	アンサンブル 「ジュビア」	48
成人・高齢者事業 (人権)	・中央公民館×平和と人権課 連携事業 「親子でふれあいながら、 一つの大きな絵を描こう！」	9.10 (全1回)	多摩平交流 センター	田川 誠 深澤 慎也	33
	・ハンセン病問題から学び、伝える	1.22 (全1回)	多摩平交流 センター	佐久間 建	34
	・LGBT講座 性の多様性/LGBTQと 子どもたち	3.25 (全1回)	中央福祉 センター	遠藤 まめた	11
成人・高齢者事業 (委託)	・外国人のための日本語教室 (3コース)	4.1～3.31 (全115回)	中央公民館 福祉支援 センター	日野国際友好 クラブ	2,647
	・田んぼの学校	4.1～3.31 (全20回)	新町、南平ほか	田んぼの学校 運営委員会	606
	・公民館平和事業	6.23～3.31 (全1回)	中央公民館 中央福祉 センター	公民館平和事業 実行委員会	63
映画会	・「伊豆の踊子」	3.18 (全1回)	中央公民館	DVD 吉永小百合ほか	19
	・「ボスベイビー ファミリーミッション」	3.29 (全1回)	ひの児童館	DVD (声) ムロツヨシほか	38
青少年事業	・子ども将棋指導対局	4.1～2.28 (全19回) 【新型コロナ ウイルス感染 症対策により 一部中止】	中央公民館	日野市将棋 サークル	344
	・勉強ルーム in 公民館	4.1～3.31	中央公民館	中央公民館職員	5
	・公民館まんがクラブ ～つけペンでまんがを描こう！ ～入門編・キャラクターイラスト	6.5、6.19 (全2回)	中央公民館	大瀧 めぐみ	15
	・夏休み子どもカーデザイン教室	7.28 (全1回)	日野自動車内 デザインセンター	日野自動車(株) デザイン部	14
	・アートおもしろお面をつくろう！ 講座	8.3 (全1回)	中央公民館	中村 由紀子 高橋 勉	20
	・夏休み小学生集まれ！！ 「わくわく学習術」	8.4、8.5 (全3回)	夢が丘小学校 体育館 陸上自衛隊 立川駐屯地 立川防災館	芳賀 舞波 陸上自衛隊広報 立川防災館職員	29
	・Scratchを使った 楽しいプログラミング	8.19～8.21 (全3回)	中央福祉 センター	矢ヶ崎 敏明	43
	・親子の陶芸体験教室	9.11～9.29 (全3回)	中央公民館	公民館サークル 「陶花」	29

	・中央公民館×ひの児童館 ワンにゃんウッドクラフト講座	10.15 (全1回)	中央公民館	小林 朝七	35
	・冬休み書初め講座	12.24、12.25 (全2回)	中央公民館	柴田 雪香	26
	・つるし雛をつくろう！ ～針と糸にチャレンジ～	2.18 (全1回)	中央公民館	高橋 佐喜子	3
	・ゆめもぐ広場	3.1 (全1回)	教育センター 体育館	なし	33
	・心と身体で音楽を楽しもう リトミック講座	3.4、3.25 (全2回)	中央公民館	山崎 詩奈子	21
	・素敵なおこづかい帳・缶バッチを プレゼント ゲームをしながら 楽しく学ぶ！お金の教室	3.11 (全1回)	日野第一小学校	土生 恵子	29
	・ガチャ玉で作ろう！ ぱっかんくす玉	3.28 (全1回)	中央公民館	高橋 さゆり	10
	・楽しく学ぶ Scratch プログラミング	3.29、3.30 (全2回)	中央公民館	矢ヶ崎 敏明	28
	・みんなで楽しいダンス教室	3.31 (全1回)	中央公民館	諸星 智子 ほか	4
業 青少年事 (委託)	・第16回 ひのっ子シェフコンテスト	10.30 (全1回)	中央公民館 高幡台分室	ひのっ子シェフ コンテスト実行 委員会	41
障害者事業 (委託)	・少年学級定例会、リトミック等	4.1～3.31 (全18回) 【新型コロナ ウイルス感染 症対策により 一部中止】	中央公民館 高幡台分室 ほか	日野市少年学級 親の会運営	369
	・青年 成人学級 定例会、分科会等	5.15～3.19 (全53回)	中央公民館 ほか	障害者青年・成人 学級仲間の会運営	568
ひの市民大学	・ハロウィン企画！ かわいいみそ玉をつくろう！	10.15 (全1回)	中央公民館	青木 めぐみ	10
	・即席みそ汁の素、 味噌玉をつくろう！	11.22 (全1回)	中央公民館	青木 めぐみ	10
	・時間と心のゆとりをつくる 生活の知恵	1.14、1.28 (全2回)	中央公民館	多摩友の会	19
	・香道体験～香りを楽しむ～	1.17 (全1回)	中央公民館	立川 準	18

	・あなたもアーティスト体験 @豊田駅南口	3.5 (全1回)	豊田南地区 センター	田中 令 北原 章広 増田 卓哉 渡邊 涼	17
	・『365日のシンプルライフ』 上映&トークイベント	3.21 (全1回)	Tree HALL	森下 詩子	21
	・ジュース実験室	3.29 (全1回)	中央公民館	青木 めぐみ	14
ひの市民大学 大学連携コース	・東京薬科大学 伝統医療で用いられるハーブと 石田散薬～健康寿命延伸に 向けてのハーブの利用～	1.21 (全1回)	中央公民館	安田 一郎	33
	・帝京大学 小中学生のためのラグビー教室	1.28 (全1回)	帝京大学 ラグビーグラウ ンド(百草)	帝京大学 ラグビー部	26
	・実践女子大学 発酵食品講座うまみを科学する	2.11 (全1回)	日野市役所 505会議室 オンライン併用	秋田 修	40
	・中央大学 古文書から読み解く幕末・明治 維新	2.18 (全1回)	平山交流 センター オンライン併用	宮間 純一	42
	・明星大学 地球環境講座～SDGsにおける 気候変動の位置づけを考える	3.18 (全1回)	平山交流 センター オンライン併用	櫻井 達也	16
たま学びテラス広域連携事業 (日野市・多摩市)	・多摩川の魅力を知ろう！	9.23 (全1回) 【雨天により 中止】	落川地区広場 (多摩川・浅川 の合流点)	多摩川漁業協同 組合 日野支部	—
	・オンライン市民大学連携 日野市 「ひの市民大学」 多摩市 「関戸地球大学院」	日野市 ひの市民大学 大学連携 コース参照 多摩市 10.7～11.24 (全6回)	日野市 ひの市民大学 大学連携 コース参照 多摩市 関戸公民館	日野市 ひの市民大学 大学連携コース 参照 多摩市 山田 小太郎 桑島 由英 巴特尔(バートル) 古田 常人 原野 かおり 高橋 睦子	日野 (157) ひの 市民 大学 大学 連携 コース 参照 多摩 217

	・多摩の丘陵地と史跡を歩こう	1.25～2.15 (全4回)	多摩市内 百草園 高幡不動駅 ほか	金野 啓史 橋場 万里子 株式会社YCC	57
	・子どもプログラミング体験教室	3.25 (全2回)	多摩平交流 センター	市環境共生部 環境保全課職員 株式会社 スクーミー	31
アウトリーチ事業	・出張公民「観」in高幡台団地	11.23 (全1回) 【雨天により中止】	高幡台団地 旧73号棟前広場	公民館登録 サークルほか	—
	一中地区 ・蚕でつなぐプロジェクト ～一緒に蚕のこと学びませんか～	4.30～5.21 (全3回)	中央公民館 仲田の森 蚕糸公園	蚕糸の会・日野	82
	一中地区 ・蚕でつなぐプロジェクト ～一緒に蚕のこと学びませんか Ver.2～	9.17、10.1 (全2回)	中央公民館	蚕糸の会・日野	49
	一中地区 ・蚕でつなぐプロジェクト ～一緒に蚕のこと学びませんか Ver.3～	2.25 (全1回)	仲田の森蚕糸 公園桑ハウス	蚕糸の会・日野	12
	二中地区 ・『多摩平の森』の歴史を知ろう！	5.28 (全1回)	UR多摩平の森 さくら集会所	小木曾 裕 笹原 武志	35
	四中地区 ・中央公民館×日野第六小学校 「星空講座」	12.2 (全1回)	日野第六小学校 体育館	村山 孝一	125
	四中地区 ・中央公民館×旭が丘小学校 「星空講座」	2.16 (全1回)	旭が丘小学校 体育館	村山 孝一	72
居場所づくり	・居場所こむこむ	4.21～3.16 (全13回)	中央公民館 談話室	こどもへの まなざしママ会 サークルどーなつ	674
	・子どものための居場所づくり セミナー	1.21 (全1回)	中央公民館 オンライン併用	NPO法人子ども へのまなざし 日野すみれ塾 ひの社会教育セン ター（子育て応援 施設 モグモグ） 日野市社会福祉協 議会、日野市ボラ ンティアセンター	39
連携企業	・京王線へ行こう！高幡不動駅車両 基地見学ツアー	4.5 (全1回)	京王電鉄 高幡不動駅 車両基地	京王電鉄	38

	・明治安田生命保険相互会社協働	6.21～12.6 (全6回)	中央公民館 ほか	明治安田生命 保険相互会社	52
公民館まつり		展示部門 10.1～3.24 ステージ部門 12.10 (全1回)	中央公民館 オンライン併用	公民館まつり 実行委員会と 共催	展示 未計測 ステージ 262
第24回ひの아트フェスティバル		8.20、8.21 (2日間) 【新型コロナ ウイルス感染 症拡大により 中止】	仲田の森蚕糸 公園桑ハウス	ひの아트 フェスティバル 実行委員会と 共催	—

2 公民館利用状況

(1) 中央公民館

ア 目的別利用数（年間）

公民館事業または 中央公民館使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
931	7,188	2,363	14,771	63	579	26	370	25	96	3,408	23,004

※ 陶芸窯利用26回 登録団体5サークル

イ 目的別利用数（月別）

月	公民館事業 または中央 公民館使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	39	232	227	1,331	2	15	5	55	0	0	273	1,633
5	62	366	168	1,051	3	20	0	0	0	0	233	1,437
6	67	622	216	1,383	4	40	0	0	0	0	287	2,045
7	70	461	225	1,339	7	49	4	59	0	0	306	1,908
8	90	587	122	624	7	48	0	0	0	0	219	1,259
9	82	613	217	1,271	4	78	1	10	0	0	304	1,972
10	92	878	216	1,355	5	30	0	0	2	16	315	2,279
11	93	720	204	1,378	7	67	6	152	0	0	310	2,317
12	91	726	175	1,143	5	46	6	39	17	34	294	1,988
1	81	845	179	1,226	8	74	0	0	0	0	268	2,145
2	76	509	190	1,262	7	75	1	5	2	2	276	1,853
3	88	629	224	1,408	4	37	3	50	4	44	323	2,168
計	931	7,188	2,363	14,771	63	579	26	370	25	96	3,408	23,004

ウ 部屋別利用率（月別）

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理 実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
4	午前	76.0	52.0	64.0	40.0	48.0	84.0	56.0	28.0
	午後	72.0	56.0	72.0	4.0	36.0	76.0	56.0	12.0
	夜間	56.0	48.0	32.0	0.0	20.0	56.0	48.0	0.0
5	午前	52.2	43.5	73.9	34.8	47.8	91.3	56.5	43.5
	午後	56.5	52.2	69.6	8.7	30.4	78.3	65.2	8.7
	夜間	52.2	47.8	13.0	4.3	0.0	39.1	43.5	0.0
6	午前	76.9	69.2	50.0	34.6	50.0	88.5	57.7	46.2
	午後	73.1	61.5	80.8	7.7	15.4	92.3	42.3	7.7
	夜間	53.8	46.2	26.9	3.8	0.0	61.5	50.0	7.7
7	午前	66.7	66.7	70.4	40.7	29.6	88.9	59.3	25.9
	午後	63.0	66.7	85.2	25.9	37.0	81.5	66.7	14.8
	夜間	44.4	44.4	40.7	0.0	11.1	51.9	51.9	0.0
8	午前	60.0	56.0	44.0	28.0	24.0	84.0	32.0	12.0
	午後	68.0	44.0	56.0	12.0	32.0	84.0	48.0	8.0
	夜間	40.0	32.0	20.0	0.0	12.0	40.0	40.0	0.0
9	午前	84.0	80.0	56.0	40.0	32.0	88.0	52.0	36.0
	午後	84.0	76.0	80.0	16.0	44.0	72.0	72.0	24.0
	夜間	60.0	56.0	40.0	0.0	20.0	60.0	44.0	0.0
10	午前	76.9	61.5	65.4	50.0	42.3	80.8	65.4	26.9
	午後	84.6	76.9	69.2	19.2	42.3	84.6	84.6	7.7
	夜間	57.7	53.8	42.3	0.0	15.4	53.8	53.8	0.0
11	午前	79.2	79.2	79.2	50.0	58.3	95.8	66.7	33.3
	午後	87.5	83.3	70.8	25.0	50.0	91.7	66.7	25.0
	夜間	62.5	54.2	25.0	4.2	8.3	41.7	50.0	4.2
12	午前	83.3	70.8	50.0	58.3	54.2	91.7	66.7	45.8
	午後	75.0	66.7	75.0	33.3	50.0	91.7	66.7	20.8
	夜間	45.8	41.7	29.2	4.2	16.7	41.7	33.3	12.5
1	午前	70.8	62.5	75.0	54.2	50.0	66.7	58.3	45.8
	午後	62.5	62.5	70.8	25.0	37.5	83.3	37.5	8.3
	夜間	50.0	54.2	33.3	0.0	20.8	37.5	50.0	0.0
2	午前	68.2	59.1	86.4	45.5	50.0	90.9	50.0	50.0
	午後	86.4	81.8	90.9	13.6	50.0	81.8	45.5	18.2
	夜間	68.2	63.6	27.3	0.0	18.2	59.1	50.0	0.0
3	午前	80.8	84.6	73.1	50.0	46.2	84.6	65.4	46.2
	午後	84.6	84.6	80.8	30.8	38.5	88.5	80.8	7.7
	夜間	30.8	34.6	38.5	0.0	15.4	50.0	46.2	0.0

月	区分	講座室A	講座室B	視聴覚室	調理 実習室	小会議室	実習室	ホール	保育室
年間計	午前	73.1	65.7	65.3	43.8	44.1	86.2	57.2	36.4
	午後	74.7	67.7	75.1	18.5	38.4	83.8	61.3	13.5
	夜間	51.5	47.8	31.0	1.3	13.1	49.5	46.8	2.0

(使用日数/開館日数=%)

(2) 中央公民館高幡台分室

ア 目的別利用数 (年間)

公民館事業または中央 公民館高幡台分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
179	1,973	1,907	10,836	331	2,550	145	948	24	171	2,586	16,478

※ 陶芸窯利用37回 登録団体7サークル

イ 目的別利用数 (月別)

月	公民館事業 または中央 公民館高幡台 分室使用分		市民グループ (文化関係)		市民グループ (体育関係)		市役所関係		その他		合 計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4	3	21	168	1,030	25	211	9	70	2	10	207	1,342
5	3	12	161	930	23	188	4	41	7	55	198	1,226
6	10	59	176	935	29	232	18	120	2	12	235	1,358
7	13	84	176	1,048	30	246	17	141	1	2	237	1,521
8	44	549	124	631	24	186	9	59	4	14	205	1,439
9	9	63	165	902	31	221	4	34	0	0	209	1,220
10	53	793	151	822	29	230	14	75	2	18	249	1,938
11	13	92	157	912	24	187	13	44	1	10	208	1,245
12	11	47	146	885	25	205	17	71	2	23	201	1,231
1	5	51	145	810	30	215	22	180	1	7	203	1,263
2	8	142	159	934	30	213	6	52	1	11	204	1,352
3	7	60	179	997	31	216	12	61	1	9	230	1,343
計	179	1,973	1,907	10,836	331	2,550	145	948	24	171	2,586	16,478

ウ 部屋別利用率 (月別)

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
4	午前	24.0	60.0	88.0	76.0	36.0	60.0	64.0	24.0
	午後	12.0	16.0	80.0	76.0	20.0	52.0	72.0	24.0
	夜間	0.0	4.0	4.0	0.0	16.0	4.0	8.0	8.0
5	午前	26.1	69.6	82.6	78.3	52.2	47.8	60.9	30.4
	午後	17.4	30.4	69.6	87.0	30.4	56.5	56.5	26.1
	夜間	0.0	8.7	0.0	4.3	17.4	8.7	0.0	0.0
6	午前	23.1	69.2	88.5	80.8	38.5	53.8	65.4	34.6
	午後	23.1	23.1	73.1	73.1	57.7	50.0	73.1	34.6
	夜間	0.0	3.8	3.8	3.8	26.9	3.8	0.0	0.0

月	区分	実習室	和室	講座室1	講座室2	講座室3	講座室4	講座室5	講座室6
7	午前	22.2	55.6	85.2	63.0	44.4	51.9	74.1	44.4
	午後	14.8	29.6	63.0	63.0	48.1	51.9	81.5	44.4
	夜間	0.0	3.7	3.7	0.0	14.8	11.1	0.0	7.4
8	午前	28.0	60.0	68.0	60.0	28.0	48.0	80.0	44.0
	午後	16.0	24.0	56.0	52.0	28.0	40.0	64.0	36.0
	夜間	8.0	12.0	16.0	0.0	24.0	12.0	8.0	8.0
9	午前	24.0	64.0	84.0	60.0	64.0	52.0	68.0	32.0
	午後	20.0	16.0	72.0	56.0	48.0	52.0	68.0	28.0
	夜間	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0	8.0	0.0	4.0
10	午前	30.8	76.9	96.2	61.5	50.0	57.7	69.2	34.6
	午後	38.5	26.9	73.1	69.2	46.2	61.5	76.9	34.6
	夜間	7.7	7.7	11.5	3.8	19.2	3.8	0.0	0.0
11	午前	20.8	70.8	87.5	66.7	58.3	62.5	79.2	0.0
	午後	25.0	41.7	62.5	66.7	62.5	54.2	66.7	0.0
	夜間	0.0	8.3	4.2	0.0	20.8	8.3	0.0	0.0
12	午前	25.0	79.2	87.5	66.7	50.0	58.3	79.2	0.0
	午後	20.8	33.3	70.8	54.2	50.0	58.3	79.2	0.0
	夜間	0.0	0.0	4.2	0.0	12.5	4.2	4.2	0.0
1	午前	25.0	79.2	79.2	54.2	58.3	58.3	79.2	0.0
	午後	29.2	54.2	70.8	58.3	41.7	45.8	79.2	0.0
	夜間	0.0	12.5	4.2	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
2	午前	36.4	72.7	90.9	81.8	59.1	68.2	63.6	0.0
	午後	27.3	36.4	77.3	86.4	54.5	63.6	77.3	0.0
	夜間	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	13.6	0.0	0.0
3	午前	26.9	73.1	73.1	76.9	50.0	73.1	61.5	0.0
	午後	23.1	38.5	80.8	80.8	42.3	65.4	73.1	0.0
	夜間	0.0	3.8	15.4	0.0	11.5	11.5	3.8	0.0
年間計	午前	25.9	69.0	84.2	68.7	48.8	57.6	70.4	20.9
	午後	22.2	30.6	70.7	68.4	44.1	54.2	72.4	19.5
	夜間	1.3	5.4	5.7	1.0	17.2	8.1	2.0	2.4

(使用日数/開館日数=%)

3 公民館運営審議会

(1) 公民館運営審議会の会議状況

回	開催年月日	開催場所	議 事 案 件
1	6.17	中央公民館	議題 (1) 令和4年度日野市中央公民館(令和3年度事業)の運営状況の評価について (2) 諮問について 《諮問》「第2次日野市公民館基本構想・基本計画の中間検証について」
2	7.29	中央公民館	1 日野市公民館運営審議会第29期委員委嘱式 2 第2回日野市公民館運営審議会 報告 (1) 「第24回ひのアートフェスティバル」と「令和4年度公民館まつり」について (2) 令和4年度大学連携について 明星大学「生涯学習論A」- 公民館スカベンジャーハント&モザイクアート - 議題

回	開催年月日	開催場所	議 事 案 件
			(1) 令和4年度中央公民館の基本方針について (2) 「令和4年度日野市中央公民館（令和3年度事業）の運営状況の評価について (3) 「第2次日野市公民館基本構想・基本計画の中間検証（諮問）」について
3	12.21	中央福祉センター	報告 (1) 「令和4年度公民館まつり」の開催について (2) 令和4年度たま学びテラス事業について 議題 「第2次日野市公民館基本構想・基本計画の中間検証（諮問）」について その他 (1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会より (2) 今後の東京都公民館連絡協議会への対応について
4	3.9	中央公民館	報告 (1) 「令和5年度公民館まつり」の開催について (2) 令和5年度たま学びテラス事業について (3) 第59回東京都公民館研究大会について 議題 (1) 「第2次日野市公民館基本構想・基本計画の中間検証（諮問）」について その他 (1) 東京都公民館連絡協議会 委員部会より

(2) 公民館運営審議会委員の研修等

	内容	年月日	会場市	参加委員
1	令和4年度東京都公民館連絡協議会（都公連）定期総会	4.4.20	昭島市	1
2	令和4年度都公連委員部会第1回運営委員会	4.4.28	国分寺市	—
3	令和4年度都公連委員部会第2回運営委員会	4.5.26	国分寺市	—
4	令和4年度都公連委員部会第3回運営委員会	4.6.30	国分寺市	1
5	令和4年度都公連委員部会第4回運営委員会	4.7.28	国分寺市	1
6	令和4年度都公連委員部会第5回運営委員会	4.8.25	国分寺市	1
7	令和4年度都公連委員部会第6回運営委員会	4.9.29	国分寺市	1
8	令和4年度都公連委員部会第1回研修会	4.10.1	国分寺市	1
9	令和4年度都公連委員部会第7回運営委員会	4.10.27	国分寺市	1
10	令和4年度都公連委員部会第8回運営委員会	4.11.24	国分寺市	1
11	令和4年度都公連委員部会第9回運営委員会	4.12.22	国分寺市	1
12	令和4年度都公連委員部会第10回運営委員会	5.1.26	日野市	1
13	第59回東京都公民館研究大会	5.2.4	小平市ほか	2
14	令和4年度都公連委員部会第11回運営委員会	5.3.30	国分寺市	1

4 公民館保育室の利用状況

(1) 保育室の利用状況

ア 公民館事業

事業内容	公民館保育付講座	外国人のための日本語教室（委託事業）	その他	計
利用回数	4	0	0	4

利用延人数	22	0	0	22
-------	----	---	---	----

※保育援助は事前申込制で、満1歳6ヶ月から就学前まで

イ 保育援助認定グループ

グループ名	おとなの手芸部 (手芸)	はだかんぼう (調理)	ハモレレ (ウクレレ)	いるか (子育て学習)	
利用回数	10	20	17	3	
利用延べ人数	22	58	27	3	
グループ名	子どもへの まなざしママ会 (子育て学習)	虹色親子サークル (子育て学習)	ACT (子育て学習)	NP (子育て学習)	計
利用回数	10	9	9	3	81
利用延べ人数	16	26	14	4	170

※保育援助は事前申込制で、満1歳6ヶ月から就学前まで

5 公民館だより

号(発行日)	仕 様	主 な 内 容
第172号 (7.31)	A3判二つ折り 4ページ カラー刷り 1,100部	・8月は平和月間、今年も公民館平和事業を開催します！ ・サークルの仲間たち「二八そばの会」 ・令和4年度 中央公民館講座等事業(9月～11月)のご紹介 ・公民館まつり&ひのアートフェスティバルのお知らせ ・第16回ひのっ子シェフコンテスト 作品を募集しています！ ・保育室前がリニューアルしました！ ・コラム「ねこの足跡」ほか
第173号 (11.30)		・たま学びテラス事業が始まります！ ・サークルの仲間たち「日野市将棋サークル」 ・令和4年度 公民館まつりのお知らせ ・令和4年度 中央公民館講座等事業(12月～3月)のご紹介 ・第16回ひのっ子シェフコンテストを開催しました！ ・コラム「ねこの足跡」ほか
第174号 (3.31)		・公民館まつり ～出会い ☆ ふれあい ☆ 学びあい～ ・サークルの仲間たち「ラ・マリポーサ」 ・日野市少年学級 学級生募集のお知らせ♪ ・日野市青年・成人学級 学級生募集のお知らせ！ ・令和5年度 中央公民館講座等事業(4月～7月)のご紹介 ・コラム「ねこの足跡」ほか

○日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日
制定

（目的）

第1条 この要綱は、社会教育法(昭和24年法律第207号)第32条に規定する、公民館の運営の状況に関する評価等の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

（点検及び評価の対象）

第2条 日野市中央公民館(以下「公民館」という。)は、毎年1回、公民館の運営状況について評価を行う。

（評価の方法）

第3条 公民館は、公民館運営審議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

（教育委員会への報告書の提出）

第4条 公民館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

（評価結果の公表）

第5条 公民館は、評価の結果を市民に公表する。

（評価結果の活用）

第6条 公民館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

（庶務）

第7条 評価に関する庶務は、公民館管理係において処理する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、公民館長が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

第29期公民館運営審議会委員名簿

委員長	須崎 奈緒美	社会教育の関係者
副委員長	生島 美和	学識経験者
委員	今尾 恵介	学識経験者
委員	丹間 康仁	学識経験者
委員	松永 式子	学校教育の関係者（令和5年3月31日 解嘱）
委員	小川 真由美	学校教育の関係者（令和5年4月1日 委嘱）
委員	斉野 美紀	社会教育の関係者
委員	諸星 智子	社会教育の関係者
委員	松川 紀子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
委員	木戸場 美和	公募による市民
委員	中野 純平	公募による市民
任期	自 令和4年7月 1日	
	至 令和6年6月30日	

《参考》令和３年度 令和４年度 講座等参加人数

	令和３年度	令和４年度
成人・高齢者事業	4,375	4,544
一般成人、高齢者向け講座	1,426	1,171
公民館映画会	70	57
委託・公民館平和事業	180	63
委託・外国人のための日本語教室	2,112	2,647
委託・田んぼの学校	587	606
青少年事業	538	911
講座	501	870
委託・ひのっ子シェフコンテスト	37	41
ひの市民大学	746	266
講座	434	266
委託・大学連携	312	0
障害者事業	815	937
委託・少年学級	357	369
委託・障害者青年・成人学級	458	568
イベント	0	262
公民館まつり	一部中止	262（一部未計測）
たま学びテラス事業	91	462
たま学びテラス事業	91	462
シニアＩＣＴ支援事業	867	231
シニアＩＣＴ支援（スマホ講座）	867	231
明治安田生命連携事業	52	52
明治安田生命連携事業	52	52
居場所づくり	254	674
居場所づくり	254	674
公民館アウトリーチ事業	438	422
事業	438	422
総 計	8,176	8,761

令和５年度
日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
（令和４年度事業）

令和５年９月
日野市中央公民館

〒191-0011
東京都日野市日野本町七丁目５番地の２３
電話 ０４２-５８１-７５８０ ＦＡＸ ０４２-５８１-２１１０